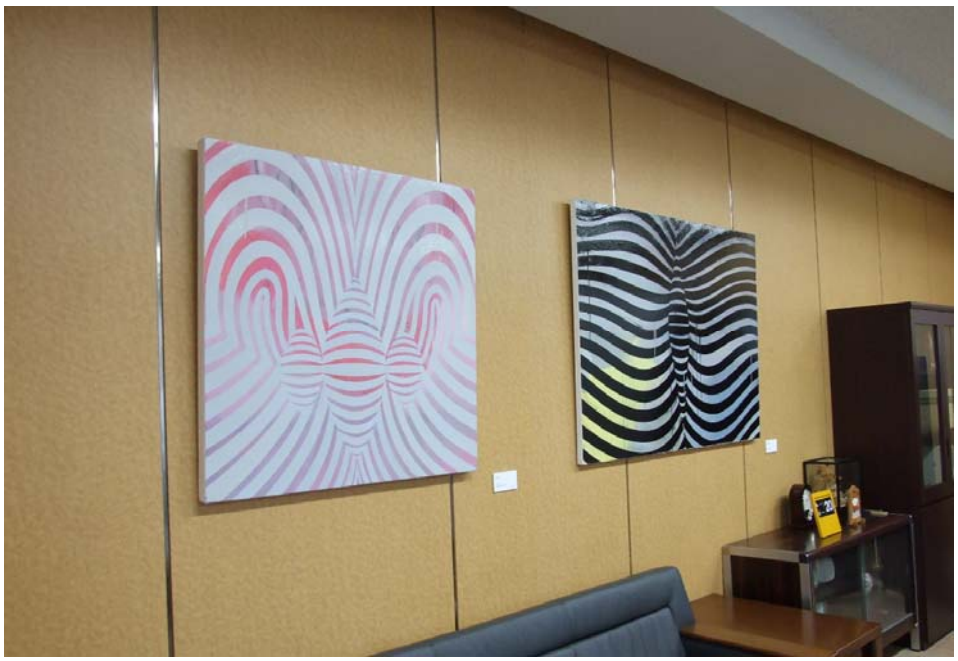
「Ｃｏｒｅ」・「Ｖｅｎｕｓ」
八木太郎氏の作品

国保連合会役員室に飾る



左:「Ｃｏｒｅ」　２００７年キャンバス・油彩　８９．５×　８９．５ｃｍ

右:「Ｖｅｎｕｓ」　２００７年キャンバス・油彩　９７．３×１３０．５ｃｍ

府国保連合会の役員室にこのほど、八木太郎氏の絵画作品「Core」と「Venus」が飾られた。

八木さんが作品で取り上げているものは「人」である。自身の内なる世界と、社会や他者といったような外なる世界との間で揺れ動き、形作られていく人の在り方。そのような人の在り方は、危うさと同時に美しさをも感じさせるという。八木さんはそれらを絵画という平面に取り込みながら、一つのイメージとして提示しているのだ。特に、人体から抽出した単純で官能的なフォルムをひとつの契機としながら、抽象的かつダイナミックな空間を、線（面)、形、色といったような造形性を基に画面に浮かび上がらせ、観る人や空間をも巻き込んだ象徴をつくりあげたいとのこと。

八木さんはこのような主題を自身の作品の軸にして、日々制作活動を続けている。

八木太郎

１９８４年　兵庫県生まれ

２００８年　京都市立芸術大学美術学部美術科油画専攻卒業

２００７年　同大学大学院美術研究科修士課程油画在籍　１回生